

事業の名称	とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略	
評価	意見	
本事業が相当程度有効であった	<p>順調に進んでいるものが多く、今後の発展も見込まれることから、有効であったと思われる。 目標値の達成に主眼を置くのではなく、その先の満足度や認知度の向上、所得増加といった経済効果や波及効果を見据える必要がある。</p>	
本事業が相当程度有効であった	<p>本事業は、KPIが基本目標達成に向けて順調に推移しているため、相当程度有効であったといえる。特に、農商工業連携事業の藍食に関しては徳島県内でも関心の高い事柄の1つであろう。徳島県全体のアイデンティティの1つである藍産業を徳島市が率先して発展させるためにも、今後も継続、拡充に努められると良いと考える。</p>	
本事業が相当程度有効であった	<p>高付加価値商品を2年間度30商品にすることは目標値としては高すぎないか。</p>	
本事業が相当程度有効であった	<p>基本目標については、順調に推移しているが、地域資源活用高付加価値商品数と補助金等を利用して販路拡大に結び付いた事業者数については進展していないので相当程度有効とした。</p>	
本事業が有効であった	<p>農商工連携による商品開発、徳島市産食材の取扱店など、着実に実績値が上がっていることから、事業は有効であったと考える。 藍をはじめとする地域資源のブランディングにおいては、統一されたネーミングやパッケージ、デザイン性、インスタ映えする外観など、素材にプラスする部分の仕掛けが成功のカギを握るところが大きい。その意味から、今後はこの事業に対する総合的なプロデュース力が求められる。 徳島市産の食材取扱店は着実に増加していることから、より一層の浸透を図るために思い切ったPR活動（キャンペーン）を仕掛けてはどうだろうか。例えば、毎月〇〇日は「△△の日」のように、その日はどの店舗も（取扱店舗のみならず多くの店舗に参加して頂き）一定の食材、あるいは同一のメニューを同一価格で提供する日を設け、お客様のSNSを通じた発信拡散効果を狙う仕掛けも面白いのではないか。 いずれにせよ、全国各地が「地ブランド」の構築に注力している中で、一歩抜け出す工夫を見つけなければならない。</p>	
本事業が有効であった	<p>本事業は、一部KPIが未達成であるものの、概ねKPIが達成できており、有効であったと言える。一方で、基本目標の達成に対しては、一層の努力が必要と言える。 特に「とくしま地域資源活用支援事業」は、基本目標の達成に効果的であると考えられるが、付加価値商品の開発がゼロ件とKPIが伸び悩んでいる。 単なる藍製品ではなく、デザイナーとのコラボレーションによって産まれる高付加価値商品の創出が望まれる。</p>	
本事業が有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源活用高付加価値商品が実施できていない。コメントも見られない。 ・ 販路拡大店舗数がH28より減少している。 	

地方創生関係交付金事業の事前評価・意見 No. 2

事業の名称	賑わいコンパクトシティ形成事業	
評価	意見	
本事業が相当程度有効であった	本事業は、KPIが基本目標達成に向けて順調に推移しているため、相当程度有効であったといえる。特に、水都とくしま魅力発信事業は、市内外の住民が地域の歴史・文化等の地域資源を確認していくことで、愛着が生まれる有用な事業であると考えられる。徳島市の人口流出に歯止めをさせ、地域を発展させていくためにも、今後も継続、拡充に努められると良いと考える。	
本事業が相当程度有効であった	「都市ブランドの向上」「にぎわい再生」を目標として人口の社会増減数を用いているが、他にも指標として適切なものがあるのではないかと考える。	
本事業が有効であった	動画制作やWEBサイトを通じた情報発信を実施したことは効果的だったと考えるが、アクセス数など具体的に情報発信度を評価する数値が表記されていない。また、今後の方向性の中で「戦略的な情報発信を行っていく」とあるが、具体的な到達目標、ゴールのイメージを明確にする必要がある。都市のブランドは、認知度を基本として、訪問・購買・居住・他者への推奨等の意向を分析し、具体策を講じなければならぬ。「阿波藍」は十分に魅力ある素材であるが、県や他の町（例えば藍住や上板など）もアピールしている「阿波藍」の魅力と、どのように連携するのかあるいは差別化するのかを考えることが大切ではないだろうか。	
本事業が有効であった	本事業での取り組みにより、基本目標やKPIの達成が直接的に図れるのか？検討が必要ではないかと考える。「県の顔」として、中心市街地等の機能強化に継続して取り組んで欲しい。	
本事業が有効であった	基本目標及びkpiともに計測中とのことなので、希望的な意味も込めて有効であったとした。	
本事業が有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・この2つの取り組みが人口の社会増に結びつく、政策シナリオについて、今一度説明願いたい。 ・現在の事業は現居住者の愛着、暮らしやすさの向上が主体となっている。県外者への周知はどうなっているのか？周知活動の成果を確認するのはどのようにしているのか？ 	
本事業が有効ではなかった	本事業は、事業のKPIは計測中であるものの、昨年度実績からは、一定の効果は出ていると考える。この点、立地適正化計画作成事業は、取組内容も基本目標の方向性に合致しており、基本目標の達成にとっても効果的であると考えられ、今後も継続して計画の策定に努められると良いと考える。そのため、適正化計画の方針等を可能な限り早急に、具体的に策定して頂きたい。	

地方創生関係交付金事業の事前評価・意見 No. 3

事業の名称	女性・若者活躍促進事業	
評価	意見	
本事業が非常に有効であった	働き手が不足する中、重要な事業であり、一定の成果も見られることから、有効であったと思われる。世の中の流れにおいて、WLBの実現は必須であり、目標値30社では少なすぎるように思う。	
本事業が相当程度有効であった	<p>創業件数、正規雇用化者数、ワークライフバランスに取り組む企業数ともに増加していることから、一定の効果を認められる。</p> <p>創業については、多様な働き方の一つのスタイルの実現であるが、創業後は事業の継続性と収益の確保という問題がある。創業者の追跡フォローアップも必要ではないだろうか。また、ワークライフバランスの実現に際しては、働く側と企業側双方の意識改革や制度の整備が必要であるとともに、成功事例となるモデルケースを発信していくことにより、未取組みの事業者に対しての啓発が進むと考える。</p>	
本事業が相当程度有効であった	正規雇用者数70は目標として高すぎるのでは。	
本事業が相当程度有効であった	基本目標、KPIともに順調に推移しているので相当程度有効とした。	
本事業が相当程度有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの取り組みで実績値が上がっている点は評価できる。 ・女性、若者に関するKPIが見られず、意図した効果がでていないのかは不明である。 	
本事業が有効であった	<p>本事業は、一部KPIが未達成であるものの、概ねKPIが達成できており、有効であったと言える。</p> <p>ただし、雇用創出という観点からは、企業誘致や女性の再就職支援などは、数年前（H27年）と比較して、KPIの伸び率が落ちているため、基本目標の達成に対しては、一層の努力が必要と言える。</p>	
本事業が有効であった	<p>本事業は、KPIがある程度伸びており、基本目標達成に向けて推移しているため、有効であったといえる。特に、若年非正規労働者正規化促進事業については、申請用件の緩和などにより平成28年度の実績に比べて順調に伸びているおり、基本目標の達成にとっても効果的であると考え。今後も継続、拡充に努められると良いと考える。</p>	

地方創生関係交付金事業の事前評価・意見 No. 4

事業の名称	四国のゲートウェイを起点とした「おどる宝島★とくしま観光・文化プログラム」発信戦略	
評価	意見	
本事業が非常に有効であった	本事業は、KPIが基本目標達成に向けて順調に推移しているため、相当程度有効であったといえる。特に、外国人観光客倍増などに向けた誘客促進事業は、基本目標の達成にとっても効果的であると考えられ、今後も継続して実施、拡充に努められるとよいと考える。	
本事業が相当程度有効であった	本事業は有効であったと思われる。特に観光面では、今後DMOが果たす役割が大きくなると考えられることから、DMO設立後の活躍を期待している。	
本事業が相当程度有効であった	本事業は、事業のKPIが概ね達成できており、基本目標も達成に向けて順調に推移していると考えられるため、有効であったと言える。阿波おどりに期間中に徳島へ観光に来ている人数に比較して、宿泊施設が不足していると考えられる。イベント民泊実施事業については、自宅提供者が31件であるため、供給量を増加させ、観光客が宿泊することにより、滞在時間を延ばすことで、観光振興をさらに向上することができると思うため、今後の事業の遂行に期待したい。	
本事業が相当程度有効であった	阿波踊り期間だけでなく年間を通じての宿泊者増のために、民泊を進める方向で政策を進めるべきでは。	
本事業が有効であった	観光施策を推進する上でDMOが設立されたことは効果的である。今後は具体的な事業設計に主導的な役割を發揮し、誘客効果を高めることを期待したい。イベント民泊については、地域や住民の理解をはじめ制度面の整備が待たれるが、JCが行った阿波踊りキャンプのような方法を市として連携推進することも検討すればどうか。また、徳島空港に国際線ターミナルが開設されたこともあり、空路で徳島入りしたインバウンドに対するアプローチについても積極的に検討し、徳島へのリピーター確保につなげる必要がある。	
本事業が有効であった	基本目標が計測中で、KPIもH29.12時点の数値であり、比較が難しい。一応、有効であったとした。	
本事業が有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の指標がなく、効果が不明。外国人訪問者数に関する数値を把握すべき。 ・体験型旅行商品の開発について、DMO設立しか書かれていないが、旅行商品の検討がなされているのか不明。具体的な取り組みの記述が必要。 	